

J H F 理事会議事録

日 時： 2008 年 9 月 1 7 日(水) 12：00～15：00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巢鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 内田孝也 議事録署名人： 下村孝一 城 涼一

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 内田孝也 大沢 豊 菊池守男
下村孝一 城 涼一（途中から出席） 松田保子
【監事】市川 孝 對馬和也
（出席理事 7 名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 理事、監事、事務局員のひとこと

大沢理事： パラ競技のグライダーの型式登録についてももう少し考えておかないといけない時期に来たと思っています。

松田常任理事： 東野さんに JHF レポートのアンケート集計を細かく出していただきました。これに後でコメントを付け、まず理事・監事へ、正会員、Web に公開をしていきたいと思えます。昨日スカイスポーツシンポジウムの実行委員会があり出席して来ました。14 件の講演があり、その中で JHF が少しでも関係があるというものは、モーターパラグライダーの飛行特性というのを防衛大の方が講演されます。アカデミックな内容のものだと思います。

菊池副会長： 前回の理事会でエリアやパイロットに対する危険の告知について原案を出しましたが、皆さんの要望では 1 日体験とかパイロットとか、参加者の飛行段階による告知を作ってもらいたいということでした。文書にして次の理事会位に出したいと思えます。

對馬監事： 時間があったら保険問題、JHF の基本保障のモーターパラとかタンデム、営業に関する場合の考え方を 1 度議論して欲しいと思っています。

荒井理事： モーターパラの検定員の件ですがきちんとして欲しいと思えます。

議長（内田）： その件だけではないのですが、補助動力委員会は抱えている問題が多いので、その話をしていきたいと思っています。配慮する様に伝えておきます。

市川監事： アジアビーチゲームズについて、一般の人にとってもニュースバリューがある様なことだと思います。時間があれば広報したい話だと感じています。JOC などもう少し大きな団体が PR やニュースリリースをやってくれるとよいのかなと思えますが、せつかくのお話ですから我々からも出来るといいと思えます。今後そういうのがあれば私も協力をしたいと思えます。

事務局・桜井： 狩野理事の交通費を振り込む際、JHF 職員慶弔規程に従って出産祝い金を 1 万円振り込みました。皆様に宜しくとのことでした。

事務局・東野： ホームページの教員検定のページに 32 名の検定員の氏名を列記しました。

議長（内田）： 先月 8 月 1 日理事会の直後に第 1 回アジアビーチゲームズというオリンピックマターの大会情報が入りオリンピック委員会とコンタクトを取りました。後で説明します。8 月 23 日におおいた国体に行って来ました。競技はアキュラシー競技をやって雨が来たのですが、何とか気象予報に従っててきばきとやったことで順位がつき大会として成立しました。

4. 審議事項

第 4－1 号議案 アジアビーチゲームズ選手派遣と補助金について

議長（内田）： 途中経過と選手選考等はメールで報告していますので大体はお分かりだと思います。9 月に JOC(日本オリンピック委員会)に私と岡さんでパラの競技もぜひ参加すべきだと行きました。3 つ条件があるということで、1 つはオリンピック委員会から行くので、それなりのオリンピック委員会規範に則ってきちんと行動出来る人ではないと受け付けられませんということ、2 番目はアンチドーピングに対してきちんと規則に則って対応してもらわないと困るということです。それは万が一アンチドーピングに引っ掛かる選手が出た場合は、それは JOC 規則に則って処分されるということ。3 番目はお金を JOC は一切持てませんが、JOC の選手団として統一行動を取ってもらい、飛行機の手配、現地の宿全ての面において JOC が用意する旅行会社の費用を持ってくれという内容です。

本部とパラグライダーチームのやり取りを含めてチームの窓口になってくれる人が行かなければならないことになり、急遽大沢さんが引き受けてくれ監督として選手に同行します。オリンピックマターの話が起こるとは 08 年の予算の時には想定されていなかったので予算項目にありません。ドーピング検査ですが、JOC と独立した機関で JADA (日本アンチドーピング機構) に行って説明を聞いて来ましたが、競技外検査というのを受けないといけない。議案は、予備費 120 万の中からいくらか選手に出してあげたいというものです。ドーピング検査を受けるといことで選手には受ける費用として 1 万ずつは負担してもらって、残りの部分を JHF の補助として出してあげたらどうかというのが内容になります。

菊池副会長： JHF の公認的な立場から言うとドーピングの検査費用は JHF から全額を出してあげた方がいいと思います。

議長（内田）： では、議案修正が出て、選手 1 万負担と書いてあるのを選手負担 0 円としてドーピング検査費用を JHF で補助するという内容に修正し、その修正案について決議します。

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、松田

第 4－2 号議案 2009 年ハンググライディング日本選手権 in 紀ノ川

来年度の事業費の予算について心配が出ましたが、2009 年ハンググライディングの日本選手権は和歌山・紀ノ川で 3 月 18 日（水）～22 日（日）の 5 日間開催するということで開催承認を決議しました。

採決の結果、【賛成 5 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、松田

第4-3号議案 2009年パラグライディング日本選手権 in 徳島

2009年パラグライディング日本選手権は徳島・吉野川フライトエリアで5月2日(土)～6日(月)(5月1日公式練習日)の5日間開催するということで開催承認を決議しました。

採決の結果、【賛成5 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、松田

5. 協議事項

5-1 総会質問書の回答について(岩手県連、兵庫県連)

総会での県連からの質問書に関して、後程回答するとなっていた兵庫県連、岩手県連に対する回答について。

議長(内田)： 兵庫県連ですが、総会の場で話し合いましたし、その後のメールでも総会の場で発言されたこと、パラグライダーで斜面をふわふわ降りて来るだけでいいのですからというのをアピールすることが書いてあるのですが、私としては文書による回答はもういらないと思っています。

松田常任理事： 岩手県連要望書の件ですが、教本の委員会を開いた時に、教員スクール事業委員のメンバーがほとんどいましたので、こういう意見がありますとご説明しました。今度技能証規定を見直していきますので参考ご意見で承りましたとおっしゃってありました。

議長(内田)： 委員会の意見を文章にして事務局で回答してもらいましょう。

5-2 アジア選手権準備進捗状況・実行委員会執行部について

アジア選手権実行委員会から進捗状況の報告があり、JHF 理事の中で執行部の監査役を出して欲しいとの要望があった。下村常任理事が入出金の監査については引受けてもよいということで返答することにした。

ハングエイドのようなサポート体制の構築の要望があったが、地元や実行委員会からやりたい要望があれば、それに対して協力することで返答することにした。

6. 報告事項

6-1 教員助教員更新講習会開催予定状況

荒井理事： 教員助教員更新講習会ですが10時間で厳しいので、助教員へは少し違った更新講習会でもよいのではと思います。

議長(内田)： 教員スクール事業委員会と、助教員と教員は1つの講習会でやるのかを議論しました。全国の状況で助教員だけでスクールをやっている所が複数あります。そういう実例があるので今の全国の実態に合わないので1つでやるということです。

荒井理事： そういう助教員の方には早めに教員技能証を取ってもらい、助教員はパイロット、クロスカントリー、その後に助教員とのステップアップと考えて取ってもらうのもよいかと思っています。スクールが忙しい時は手伝ってもらうとかの感覚も入れて欲しいと思います。

6-2～4については別紙のとおり報告した。

6-2 三法委員会議事録 (8/5)

6-3 8月フライヤー会員・技能証登録発行実績

6-4 6月総会交通費・事業費支払状況

6-5 その他

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名捺印する。

議長

(内田 孝也)

署名人

(下村 孝一)

署名人

(城 涼一)

議事録作成人：桜井加代子